

先進的な取り組みを行っている

第2弾 空き家対策

東久留米市 氷川台自治会 (355世帯 高齢化率33.4%)

前回に引き続き、多岐にわたる事業を展開している氷川台自治会の活動を紹介していきます。今回は『空き家対策』についてです。

空き家の問題…平成25年度に総務省が行った住宅・土地統計調査結果で、空き家総数が820万戸、空き家率13.5%と報告され、現在も増え続ける空き家ですが、団塊の世代が75歳を迎える「2025年問題」の医療・介護の問題と共に地域の大きな問題になっています。

「空き家・空き地」を地域資源と捉えて活用！ 収穫された野菜は地産地消！！

氷川台自治会では、「空き家・空き地」を地域の資源として、空き家問題を行政に頼らず、持ち主に直接交渉し、自治会が管理することを条件に、無償で借り受け活用しています。



| | |
|-------|---|
| 4つの活用 | ①氷川台農園 ②道の駅ひかわだい ③青空マルシェ ④季節イベント |
| 目的 | 高齢者から子どもまで幅広い層の「ふれあいの場」として「空き地・空き家」を活用し、住民同士が顔を合わせる機会を増やし、地域のコミュニティ構築を図ること。 また、子ども達に「土にふれる楽しさ」を教えること。 |
| 内容 | ①農園は、ほぼ毎日農園を見回り、育成や収穫に励む。 ②収穫した野菜は、農園前の「道の駅ひかわだい」（自治会自主運営）で無人販売。（一袋100円） ③青空マルシェは、空き店舗前で、月2回、地元の農家が新鮮野菜を地域住民に販売。 ④季節ごとに「じゃがいも堀」、「さつまいも堀」、「夕涼み会」などのイベントを開催。 |
| 活動者 | 氷川台農園：自治会会員有志。 イベント：自治会役員 |
| 効果 | イベント等の参加者の口コミで若者の移住も増え、高齢化率も減少し、地域コミュニティ溢れる地域に変わった。 |

我孫子市の空き家対策！空き家バンク

借りたい！買いたい！を市が橋渡しします。

我孫子市の空き家等の有効活用などを目的に空き家を貸したい・売りたい所有者の方の物件を市に登録し、市は国が運営・構築する「全国空き家・空き地バンク」等にその情報を公開します。

その情報を見て、借りたい・買いたいという利用希望者と所有者等との橋渡しを市と市内の宅地建物取引業者が協力して行います。（市 HP より）

※登録には、条件等がございますので下記へお問合せください。



問合せ 我孫子市役所 宅地課 住宅担当 ☎ (7185) 1111 内線601

マイホーム借上げ制度を活用して 空き家を減らそう！！



我孫子市では、シニア世帯、子育て世帯などの住みかえ支援と、空き家の有効活用などを目的として、「一般社団法人移住・住みかえ支援機構（JTI）」と連携し、「マイホーム借上げ制度」を通じた住みかえ支援事業に取り組んでいます。

マイホーム借上げ制度とは・・・

50歳以上のシニア世帯を対象にマイホームを借上げ、賃貸住宅として子育て世帯などに転貸するシステムです。この制度により、シニア世帯は自宅を売却することなく、住みかえや老後の資金として活用することができます。

また、子育て世帯などは、相場よりも安い家賃で良質な住宅を借りることができます。

また万が一、借り手が見つからない時も賃料を保証。空室時も安定した賃料収入が見込めるという利点があります。（市 HP より）



制度利用に関する詳細は、移住・住みかえ支援機構までご相談ください。

☎ 03-5211-0757

受付時間 午前9時～午後5時（祝祭日・夏季休業・年末年始除く）